

MATCHPIGMENT

ペイント、プラスチック、インク、コスメティック産業向け CGM ソフトウェア



- 原料のキャリブレーションと色彩補正を向上する次世代のアルゴリズムの採用により、より早く、高精度で安定した配合計算を実現。
- 新しい専用スマートマッチ技術により、以前よりも1回目の配合計算の精度が向上。
- 特許取得の独自の木エステイン塗料配合計算方法により、最少限の試行錯誤で、様々なタイプの木での半透明塗装の高精度な配合計算結果を得られます。
- 多機能ながら使いやすい“フォーミュラセントラル”。バーチャルカラーラボラトリーと呼べるフォーミュラセントラルで思いのままに作業できます。ひとつのスクリーン上で、1つのサンプルまたはスタンダードの全てのフォルダーの配合計算、修正計算、配合の呼出し及び登録、分光反射率合成、配合評価、配合変更など全ての作業を行えます。かつて配合条件設定などで複雑であった配合計算作業は、いまや簡単で直観的になりました。
- 頑強で、パワフル、信頼のおけるデータベースである“サイバースデータベース”は、参照の整合性、柔軟なデータアクセス、早い処理性能をもたらします。

かつて、カラーマッチングのプロセスは時間がかかり試行錯誤の繰り返しでした。Datacolor MATCH PIGMENT は、簡単かつ迅速に、可能性のある配合の中から最適な配合を導き出し、効率と生産性を高めます。

- * 正確な配合を得るための配合の予測数を減少できる
- * コスト削減

今までの配合計算のプログラムでは、それを使用するという事は、他人のやり方に沿って作業するという事でした。しかし、Datacolor MATCH PIGMENTはプログラムをあなたのワークフローに合わせることができ、仕事をより効率的にします。また、カラーマッチングの過程のどの状態にあっても、利用可能なデータに対応できます。ただ、ターゲットを測定すれば、配合計算や配合検索がすぐにできます。もし配合修正のみ必要な場合、トライアルを選択すると、トライアルに関係した全ての機能が自動的に呼び出されます。他の修正や評価用プログラムを起動する必要はありません。ジョブをすぐに作成できます。同じプロセスの繰り返しや似たものを作成するのに、ジョブテンプレートによって同じデータを再度入力する必要がなく、時間を短縮し、エラーを少なくします。

Customizable Matching Criteria (配合計算クライテリアのユーザー設定)

色差、コスト、メタメリズムやその他の要素での目標を設定し、その目標に沿った配合を得ることができます。私どもの最新のオプティマイザーで多様な目標に基づいた最適な回答を予想できます。

設定可能な目標：光源毎の色差 (DE, DL, DC, Dhなど5種類まで可能)、メタメリズム、インデックス、カーブフィット、隠蔽率、

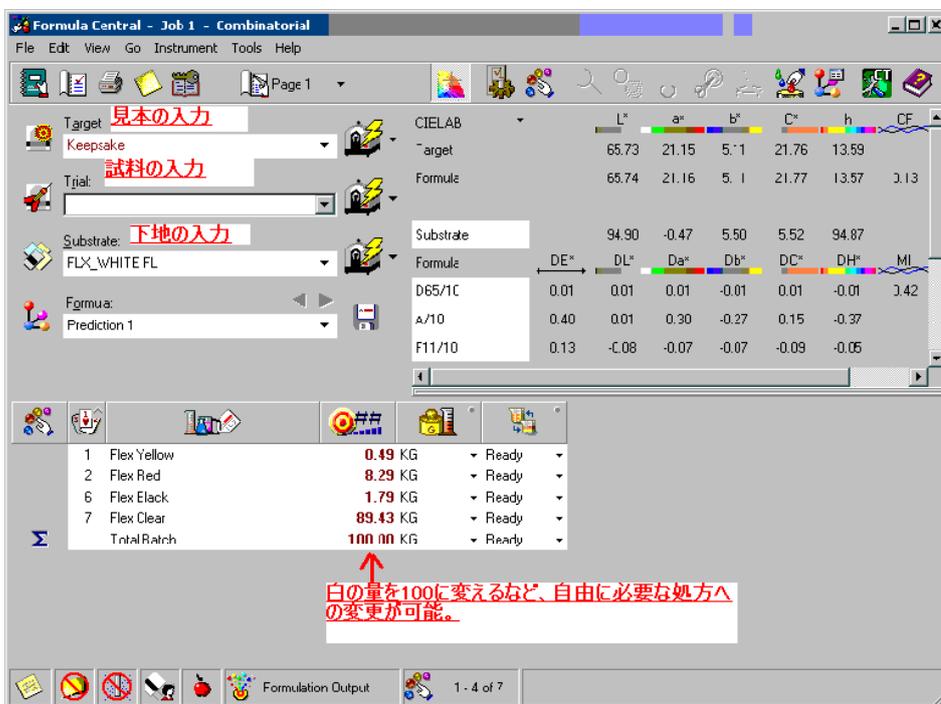
Organize Your Colorant Data For Speedy Recall (迅速な色材呼出しの為に色材データ整理)

キーワードを使用することで、色材の仕様やデータ配列に基づいた色材選択を迅速に行えます。色材の危険等級やライトファストネス、耐熱性など色材の特性で簡単に検索を行えます。キーワードは、例えば赤作成に優先的に使用する、といったカラーマッチンググループを作成することや、アクリルシステムに使用される色材、といった製品での優先性を持たせることなどができます。

1. Formula Central(フォーミュラセントラル)

ひとつのスクリーン上で、配合計算、修正計算、配合の呼出し及び登録、分光反射率合成、配合評価、配合変更など通常研究室、製造現場などで必要なほとんどの業務を処理できます。

予測配合結果の表を見て、個々の原材料の量の変更や、他の配合への変更をしても、測定し直し、再呼出しや再配合計算せずに又、フォーミュラセントラルを離れずに結果を見る事ができます。フォーミュラセントラルの操作は覚えやすく、アイコン化された絵文字とマウスを使ったオペレーションにより簡単に操作できます。評価ウィンドウではグラフィック、座標、色差等を表示します。



Formula Central - Job 1 - Combinatorial

File Edit View Go Instrument Tools Help

Page 1

Target: **見本の入力** (Keepsake)

Trial: **試料の入力**

Substrate: **下地の入力** (FLX_WHITE FL)

Formula: Prediction 1

CIELAB	L*	a*	b*	C*	h	CF
Target	65.73	21.15	5.1	21.76	13.59	
Formule	65.74	21.16	5.1	21.77	13.57	3.13

Substrate	DE*	DL*	Da*	Db*	DC*	DH*	MI
D65/1C	0.01	0.01	0.01	-0.01	0.01	-0.01	3.42
A/10	0.40	0.01	0.30	-0.27	0.15	-0.37	
F11/10	0.13	-0.08	-0.07	-0.07	-0.09	-0.05	

1 Flex Yellow	0.49 KG	Ready
2 Flex Red	8.29 KG	Ready
6 Flex Elack	1.79 KG	Ready
7 Flex Clear	89.43 KG	Ready
Σ Total Batch	100.00 KG	Ready

白の量を100に変えるなど、自由に必要な処方への変更が可能。

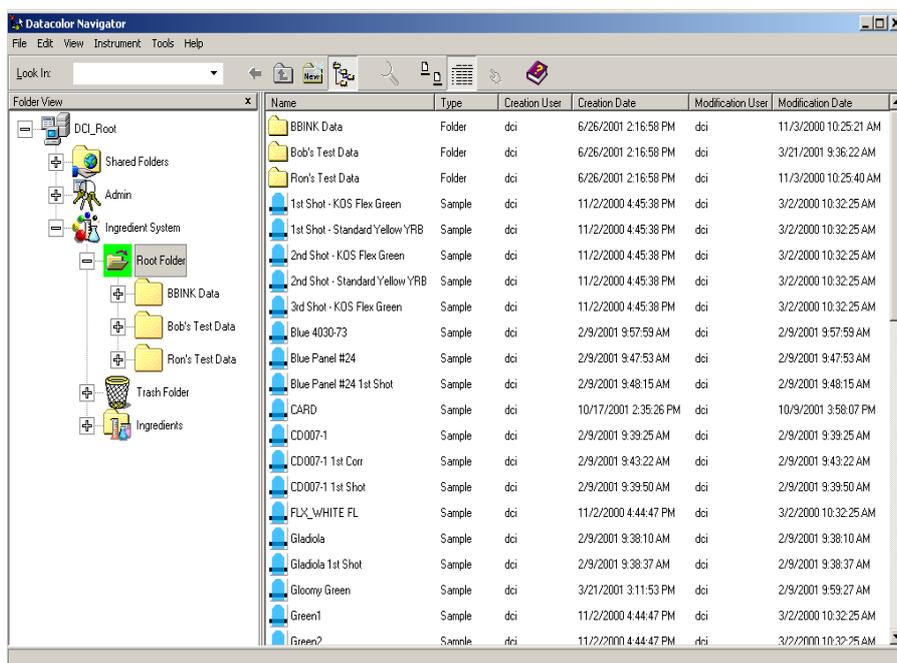
Formulation Output 1 - 4 of 7

2. Data Navigator(データナビゲーター)

データナビゲーターはフォーミュラセントラル、原材料メンテナンス、色材メンテナンス、管理プログラムなどが作製するデータベースへの簡便なアクセス及びフォルダー構造構築するプログラム。

データナビゲーター とDatacolorMATCH^{PIGMENT} データベースの関係はWindows エクスプローラーとWindowsファイルシステムの関係に非常に良く似ています。

データナビゲーターを使用することで、ユーザーはサンプル、配合、ジョブなどの項目のフォルダーに追加、データの閲覧、変更などのアクセスを簡単に実行できます。



3. Ingredient Maintenance(原材料メンテナンス)

原材料とは配合を創るのに使われる個々の物質(部品)を表します。この情報には名前、密度、価格、着色力、ロット、日付等が含まれます。原材料メンテナンスプログラムは個々の原材料の物理的情報を管理、編集を実行します。

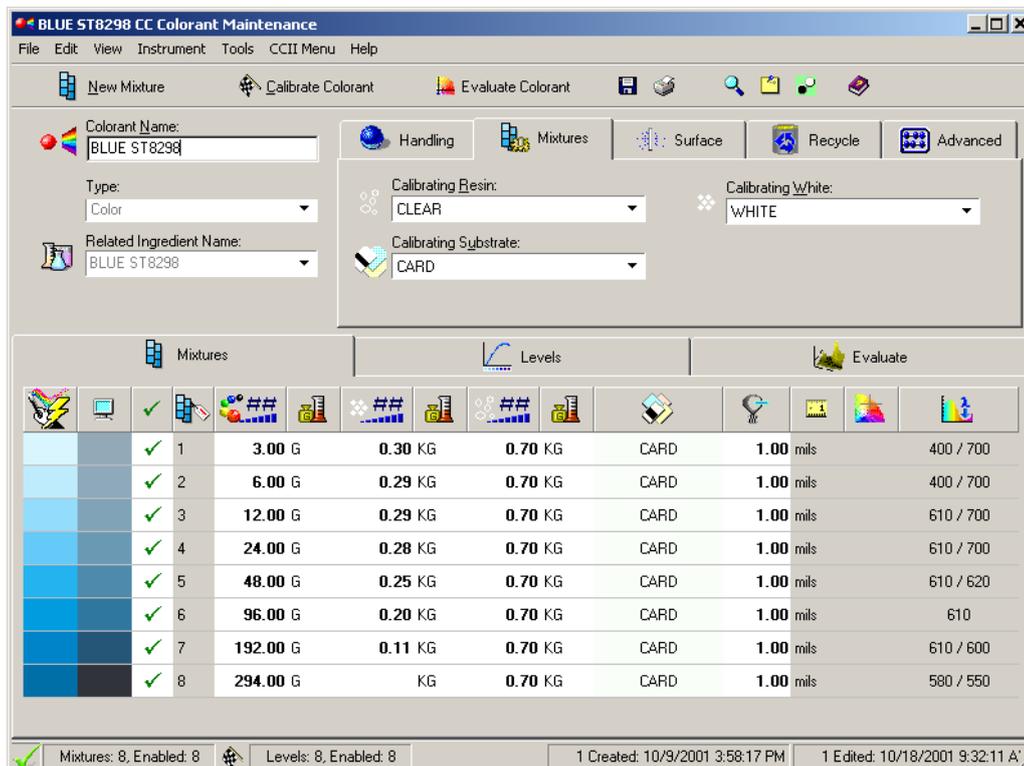
これに加えて、配合を別のフォームに分解するために必要な、物質(部品)とそれを構成する副資材の関係を指定します。

特別なユーザーは耐熱性、耐候性などの原材料のキーワード(例えば耐熱性、耐候性など)により設定された特性項目を創り、原材料情報に添付することができます。このキーワードは、フォーミュラセントラルプログラムでの原材料選択のフィルターとして使用できます。

4. Colorant Maintenance (色材メンテナンス)

ひとつの原材料として定義された色材は光学特性(K, S, K/S)を持ちます。DatacolorMATCH^{PIGMENT}は一連の原材料に違った光学モデル(透明・半透明・隠蔽など)を適用することができます。

DatacolorMATCH^{PIGMENT}色材メンテナンスプログラムは、配合計算、修正計算で精度の高い結果を提供する色材データベースを作製し、編集するための進歩した道具を提供するプログラムです。



5. Administration(管理)

一般システムデータ(色差式・光源設定など)のメンテナンスを実施。

6. ウィザードの採用

測定ウィザード、色材作成ウィザードなどが用意され、オペレータはこれらウィザードの指示に従うだけで、複雑な設定でも簡単に誤りなく使用できます。

7. ジョブ

ジョブはラボ、現場などで調色業務を完工するための仕事と手順を定義します。ジョブを1度つくると、ジョブはヴァーチャルな研究室及び製造現場の日誌のようなもので、ゴールにたどり着くまでのデータと行動を自動的に記録します。過去のジョブを開くと最後のジョブページが開かれ、すぐに作業できる状態となっています。そのジョブの前の作業を見るにはページ番号をクリックするだけです。

8. テンプレート

ジョブテンプレートは、MS Wordのテンプレートを利用することで以前のドキュメントと同じ書式の書類を作れるのと同じように、調色の仕事の必要な条件・定義を一度設定すると、それをジョブテンプレートとして、ユニークな名前を付けて登録できます。

これを利用することで、いつでも個々の調色作業に必要な選択された機能と必要なデータを持った新しいジョブを作ることができます。

9. コール機能

現在市販されているほとんどのCCMシステムは、第1光源下での色差をできるだけゼロに近づけるような計算アルゴリズムが採用されていますが、DatacolorMATCH^{PIGMENT}では株価の予想、穀物相場の予想など多くのデータを処理して答えを計算する、オプティマイザーと呼ばれるアルゴリズムを採用しています。

この結果、DEだけでなく、Da, Db, DH, DC, DL, カーブフィット率, メタメリズムインデックス、価格、隠蔽力、顔料濃度など最大5種類のデータに重要度に沿った重み付を設定、膜厚、リサイクル使用量、隠蔽力と顔料濃度の上限・下限設定などを考慮した配合計算が可能となっています。

10. 豊富なグラフィックス表示

配合計算、自動修正計算、手動修正計算などと連動して、タイムリーな情報を提供するグラフィックス機能が装備されています。

11. 光沢補正

分光光度計の機能として装備されている光沢測定機能を利用した、見本色と製品の光沢差の補正。

12. スマートマッチ学習機能

過去の実績色を利用した、配合計量精度向上学習機能。近似色で同じ配合のデータカラー各原色の発色率を計算しそれを新色配合に適用する方法と、分光反射率の振れからK/S値での補正ファクターを計算しそれを新色配合に適用する方法の2種類を採用、通常はソフトウェアが自動的にどちらかの方法を選択するが、オペレータが意図的にどちらかを選択することもできます。

ご連絡先



サンカラー株式会社

市川市相之川4-8-14

TEL 047-300-2581 FAX047-300-2585

E-mail suncolor@suite.plala.or.jp